



私とイチゴ

わが家では、米とイチゴを栽培しています。イチゴは昨年から作り始めましたが、失敗の連続でした。苗を立てても管理不足でその多くを枯らしてしまい悔しくて眠れない日々が続き、



那賀川町 濱田 由美さん

新たに苗を購入入してのスタートとなりました。かわいい花が咲き始め、緑の実が少しづつ膨らみ白から赤へと色付いていくのを見ると、辛かったことも忘れます。

「ただいま」。小学生になる娘たちが学校から帰ってききました。ハウスの戸を開けたと思うと姿が見えません。どこへ行ったのだろうと辺りを見渡すと、座り込んでニコニコしながらイチゴをつまんでいます。「形が悪い方がおいしいんよ」とか「これは熟れ

さな」と一人前の口を利きながら、小さな味見係は私が育てたイチゴを品評してくれます。

春、暖かくなつてからも病気が害虫に泣かされました。デリケートなイチゴを無農薬で栽培することは難しいのですが、味見係のために少しでも農薬を減らしたいと試行錯誤を繰り返しています。

苗を譲って頂いたり、いろいろと指導してくれる先輩方、仕事の前に朝早くから手伝ってくれる主人、足が痛いのには草抜きをしてくれる母、私のイチゴに携わってくれる人々がいなければ一年目が終わっていただけないと思います。今年もまた育苗の季節が始まっています。管理、防除に気をつけ、気の抜けない2年目のスタートです。

次は、那賀川町の小川美紀さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌大会作品

入選 勢井 恒子

ひとこまの亡夫と逢いたる昨夜の夢布団を干せば陽に吸われたり

入選 米田千代美

菜種梅雨硝子戸濡れて美容師は風邪長びけるわが髪仕上ぐ

入選 島尾 妙

土の面に柔らかい影揺らすのは春お日さまの小さな芽だ

入選 小野スミ子

庭に出て空を仰いで深呼吸味噌汁うす味今日がはじまる

入選 岩浅タミ子

歳を経て背が十センチ小さくなりつま先立てつつ洗濯を干す

入選 水口 明美

亡き人の面影のような花活けて一人足りないこの春送る

入選 湯浅佐智子

摘み来たる一人に余るブロッコリー寝かす冷庫に黄の花の乱

卵の花のさかりの村へ帰りけり 関山 和女

ブランコを大きくゆらし園青葉 神野 幸子

リハビリやナースの笑顔梅雨晴間 西岡 典子

老鶯に耳をあずけてモネの庭 中野 郁

紙袋がばつと受くる新茶かな 竹谷 由美

今年竹一輪挿しに絵画展 大平ナツ子

一湾の芥押し出す梅雨出水 田中ゆり子

鮎掛の一閃竿の動きけり 末岐 美子

島影やササユリの花ひそと咲く 市瀬 和子

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

ベクレルが住みたい家を遠ざける 佐藤つたえ

金と暇出来た頃にはない若さ 臣守 愛香

しあわせの花をあなたと咲かせたい 湯浅 三子

喜びがつづく財布がうろたえる 田上 鶴子

飲んだかな飲んでませんと薬包紙 鈴木レイ子

俳句

阿南市俳句連合会選

清原 眞治

古の格子戸涼し妻籠宿